

felicis

コンパクト DVD プレーヤー

品番 **DVP-A27**

取扱説明書



- ∞ このたびはフェリシス製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ∞ ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ∞ 保証書は必ず [販売店名・購入日] の記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

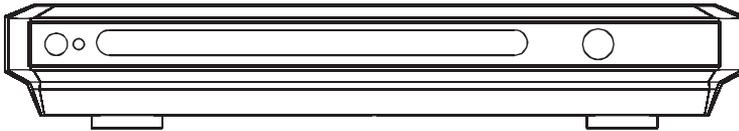
もくじ

- **セット内容の確認**……………03
- **本機の設置場所について**……03
- **安全上のご注意**……………04
- **コイン型電池に関するご注意**…07
- **ディスク使用上のご注意**……08
- **再生できるディスクについて**…09
リージョン番号 / 再生できないディスク / DVD
レコーダで記録したディスク / ビデオ CD
- **取扱上のご注意**……………10
ディスクのお手入れ / ディスクの保管 / 筐体
のお手入れについて / 免責事項
- **各部のなまえ (本体)**……………11
- **各部のなまえ (リモコン)**……12
- **リモコン操作**……………13
- **テレビとの接続**……………14
- **外部機器との接続**……………15
アナログ接続で音声を再生する / デジタル接
続で音声を再生する
- **基本的な操作**……………16-17
電源の ON / ディスクのセット / メニュー画面が
表示された場合 / 再生 / 停止 / リジューム再
生機能 / 音量の調節 / 消音機能 / ショートカッ
ト機能 / リセット機能 / 再生できる音声の種類
- **便利な再生機能**……………18-19
スキップ再生 / サーチ再生 (早戻し / 早送り) /
一時停止 / スロー再生 / コマ送り (ステップ)
再生 / ランダム再生 / リピート再生 / 特定区
間 (AB) リピート再生 / プログラム再生 / プログ
ラム再生の解除
- **便利な表示機能**……………20-21
DVD メニュー表示機能 / PBC (プレイバックコン
トロール) 機能 / 音声言語の変更 / 字幕言語
の変更 / 残量時間表示 / ズーム機能 / アン
グル機能 / タイムサーチ機能
- **データファイルの再生**……………22
MP3 ファイルの再生 / MP3 ファイル再生に
関するご注意 / 写真ファイル (JPEG) の再生
/ 写真ファイル再生の機能
- **初期設定について**……………23
初期設定の方法 / 設定を初期状態に戻すには
- **DVD 言語設定**……………24
画面表示言語設定 / 音声言語設定 / 字幕
言語設定 / ディスクメニュー言語設定 / 言語
コード表
- **映像設定**……………25
映像出力信号設定 / TV 画面サイズ設定 / TV
タイプ設定 / シャープネス設定 / ブライトネス
設定 / コントラスト設定
- **音声設定**……………26
デジタル出力設定 / ダウンミックス設定
/ HDCD 設定 / デュアルモノ設定 / ダイナミッ
クレンジ設定
- **システム設定**……………27
アングルマーク設定 / キャプション設定 / スク
リーンセーブ設定 / ラストメモリ設定 / 製品情
報表示 / 初期化
- **パスワード設定**……………28
視聴制限設定 / パスワード変更
- **困ったときは**……………29
- **おもな仕様**……………30
- **保証とアフターサービス**……31
- **製品保証書**……………32



セット内容の確認

本機には下記の付属品が同梱されております。開封時には必ずこれらの有無をご確認ください。セット内容の変更に伴い、付属品の種類は変更になる場合があります。予めご了承ください。



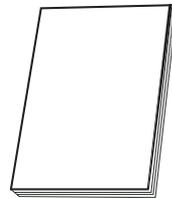
DVD プレーヤー本体 (1)



リモコン (1)



AV ケーブル (1)



取扱説明書 (1)

本機の設置場所について

本機は日本国内の摂氏 5 度～ 35 度までの温度で正常に作動するように設計されています。これらの温度を下回る、あるいは上回る環境で使用すると故障や誤作動の原因になります。下記に挙げる環境下においては決して本機をご使用にならないでください。



- ・磁気を生じる場所
- ・振動の起きる場所



- ・ストーブなどの近く
- ・直射日光の当たる場所



- ・水や水蒸気のある場所
- ・雨や水のかかる屋外



- ・不安定な場所



- ・通気を妨げる場所

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度、次の表示で区分して説明しています。



人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分して説明しています。

(下記は絵表示の一例です)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



電源コードやプラグを傷つけない

無理な折り曲げ、ねじり、加熱、加工、重量物の下敷きなどは電源コードの皮膜の破損、芯線のむき出しの原因となり、ショートや絶縁不良による火災や感電につながります。

- プラグを抜くときは根本を持ち、まっすぐ抜いてください。
- 修理は販売店にご相談ください。



異常が発生したときは電源を切り、電源プラグを抜く

そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因になります。

下記の症状の場合は絶対に正しく処置してください。

○煙が出る ○異常に熱い ○異常なおいや音がする ○内部に水や異物が混入した。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があります。分解や改造は、火災・感電・故障の原因になります。

●修理・調整は販売店にご依頼ください



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



AC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する

日本国内専用です。それ以外の電源電圧で使用すると火災・感電・故障の原因になります。

●タコ足配線などの場合も、加電流で発熱し、火災・故障の原因になります。



電源プラグは根元まで差し込む

不完全な差し込みは発熱による火災・感電の原因になります。

●傷んだプラグは使用しないでください。



雷が鳴り出したら電源プラグに触れない

落雷すると誘電により感電の原因になります。



水をかけたり濡らしたりしない

内部に水が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障の原因になります。

●内部に水が入った場合は、使用を停止し、販売店にご相談ください。

注意

不安定な場所や振動する場所に置かない

本機が落下し、ケガや故障の原因になります。

- 本機の上にものを置いたり乗ったりしないでください。

風通しの悪いところや狭い場所に置かない

内部に熱がこもり、高温になると機器が変形したり、発熱・火災・感電の原因になります。

- 設置の際は壁から10cm以上離してください。

直射日光のあたる場所や温度が高い場所に置かない

機器表面の部品が劣化・変形し、内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電の原因になります。

- ストーブの近くなどもご注意ください。

油煙や湯気、湿気、ほこりが多い場所に置かない

本機内部や端子部に水やほこりが入り、内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電の原因になります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

ほこりの堆積によりショートし、火災・感電・故障の原因になります。

- プラグは時々点検してください。

移動する場合は電源を切り、コード類を全て外す

接続した状態で移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。また、機器が落下し、ケガの原因になります。

本機の上にものを置いたり、乗ったりしない

転倒や落下などによりケガの原因になります、また、重量で筐体の変形し、放熱効果の悪化や内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電の原因になります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

コイン型電池に関するご注意

警告

コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かない

コイン型電池をお子様やペットが飲み込んだりすると、中毒の原因になります。もし、お子様やペットが飲み込んだ場合は医師に相談してください。

電池から漏れた液には触れない

液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。

目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにキレイな水で洗い流してください。その後、迅速に医師にご相談ください。

注意

電池は極性表示（＋／－）を確かめ正しく入れる

極性を間違えると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、ケガの原因になります。

充電式電池や指定以外の電池は使用しない

指定外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、ケガの原因になります。

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、ケガの原因になります。

電池の電極部（＋／－）に金属物を接触させない

電池がショートし、液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、ケガの原因になります。

●コイン型電池を保管・携帯するときは、ポリ袋などに入れてください。

●廃棄する場合は電極部にビニールテープなどを貼ってください。

ディスク使用上のご注意



レーザに注意

本機で使われているレーザ光が目にあたると危険ですので、レンズを直接真上から見ないでください。視力障害の原因になります。

クラス 1 レーザ製品について

本機は、レーザシステムと CLASS 1 LASER PRODUCT を内蔵しています。弱いレーザ光のため、人体に大きな影響はありませんが、レーザ光線による視力低下を防ぐために、絶対に本機を分解しないでください。



ディスクホルダ（トレイ）は必ず閉じておく

本機には精密レンズが内蔵されています。この部分にほこりが付かないよう、ディスクホルダ（トレイ）は必ず閉じてください。

- レンズに手を触れないでください。
- 金属などの異物を入れないでください



ディスクの挿入口に手を入れない

閉まるときにはさまれてケガの原因になることがあります。特にお子様にはご注意ください。



結露（露つき）現象について

■ 結露（露つき）とは

冬季など、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴が付くことがあります。このような現象を結露（露つき）と申します。

■ 結露（露つき）が発生する状況

- ・ 暖房を始めた直後の部屋に移動させたとき
- ・ 湿度の高い場所に持ち込んだとき
- ・ 冷たい場所から、急に暖かい場所に持ち込んだとき
- ・ エアコンのそばなど、冷風が直接当たる場所で使用するとき

■ 結露（露つき）が生じた場合

- ・ 正常なディスクの読み取りができず、プレーヤが正しく動作しないことがあります。
- ・ 電源を入れ、20～30分待ってからご使用ください。

再生できるディスクについて

■リージョン番号について

リージョン番号とは発売地域別に DVD ビデオソフトと再生機器に割り当てられた番号です。

本機のリージョン番号は「2」です。

本機は「2」（および「2」を含むもの）と「ALL」が表示された DVD ビデオの再生が可能です。

■再生できるディスク

DVD	DVD ビデオ、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW
CD	ビデオ CD、CD(CD-DA)、CD-R、CD-RW、HDCD、SVCD



■再生できないディスク

上記（再生できるディスク）以外のディスクは再生できません。

上記のアイコンが添付されている場合でも、DVD オーディオ、DVD-RAM、DVD-ROM、その他本機がサポートしていない形式のディスクは再生できません。

DVD ± R/RW や CD-R/RW ディスクであっても記録方式や記録状態によって再生できないことがあります。

■DVD レコーダーなどで記録したディスクについて

「ビデオモード」でフォーマットを行い、ファイナライズ処理をした DVD ± R/RW ディスクは「DVD ビデオ」として再生できます。「VR モード」でフォーマットを行ったディスクは再生できない場合があります。

■ビデオ CD について

本機は PBC 付きビデオ CD(バージョン 2.0)に対応しています。

PBC 対応 VCD(2.0)	メニュー画面を使って再生したい部分の検索や選択が可能
PBC 非対応 VCD(1.1)	音楽用 CD と同じ操作で映像と音声を再生します。

■その他の注意

CD-DA 規格に準拠していない CD(コピーコントロール CD など)は、動作や音質の保障ができません。

MP3 は ISO9660 に準拠したディスクでないと再生できません。

MP3 及びピクチャー CD のフォルダ名やファイル名の日本語表示はできません。また入力の方法によっては文字化けする場合があります。

ディスクによっては記録方式や記録状態によって再生できないことがあります。

本機はすべてのディスクに対して再生互換の保障がされているわけではありません。

取扱上のご注意

■ディスクのお手入れ

コンパクトディスクの汚れやごみ、キズ、そりなどが雑音の原因になることがあります。次のことにご注意ください。

- ディスクをケースから取り出す場合は演奏面にキズを付けないようにディスクの端を持ってください。
- ディスクを折り曲げないようにしてください。
- 従来のレコード盤に使用されているレコードクリーナーやスプレーおよび静電気防止剤は使用できません。
- コンパクトディスクに指紋等が付いて汚れたときは、水を含ませた柔らかい布で拭いた後、乾いた布で拭いてください。
- ディスクを拭くときは、必ず内側から外側方向に拭いてください。同心円上のキズは雑音になりやすいためです。



▲ディスクの端を持ちます



▲内側から外側へ向けてふく



▲円周方向のキズはNGです

■ディスクの保管

ディスクはケースに入れて正しく保管してください。

直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには置かないでください。

炎天下の車内に放置しないでください。温度の高い場所で保管しないでください。

浴室は加湿器のそばなど、湿気やホコリの多い場所では保管しないでください。

筐体のお手入れについて

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、石鹼水を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

ご注意

ベンジンや殺虫剤をかけますと変質や変色の原因になりますのでご使用にならないでください。



免責事項

お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、またその他の不具合等を含め、本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機は一般家庭用機器として製造された商品です。一般家庭用以外（飲食店等での長時間再生、車両や船舶への搭載使用）でご使用し故障が発生した場合は保証期間内でも有償修理を承ります。

各部のなまえ（本体）

電源 [POWER] ボタン

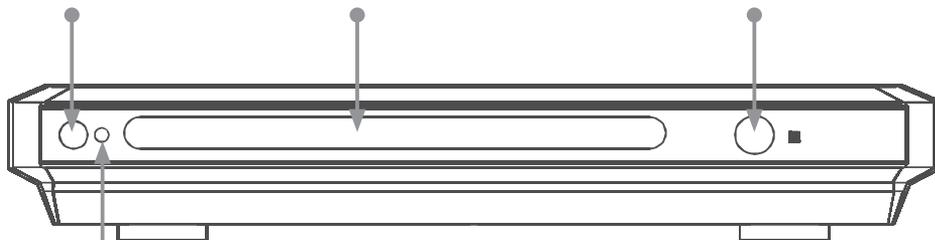
スタンバイ状態の時はボタン中央が赤く点灯します。

ディスプレイ

トレイの開閉はリモコンからも操作可能です。

赤外線センサー

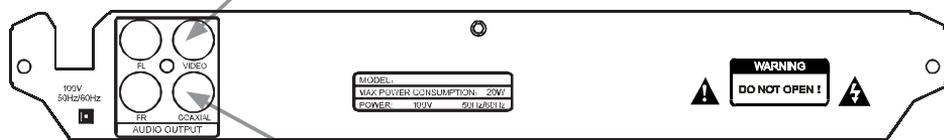
リモコンをココに向けて操作してください。



スタンバイ表示

コンポジット映像出力端子 [VIDEO]

テレビの映像入力端子（黄色）と接続してください。



アナログ音声出力端子 [AUDIO]

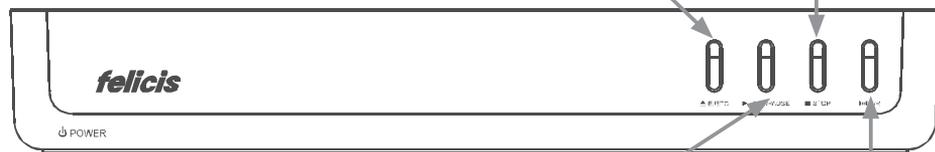
テレビや AV アンプの音声入力端子に接続します。

同軸デジタル音声出力端子 [COAXIAL]

同軸デジタル音声入力端子を備えた AV 機器とデジタル接続する場合に使用します。

開閉ボタン [EJECT]

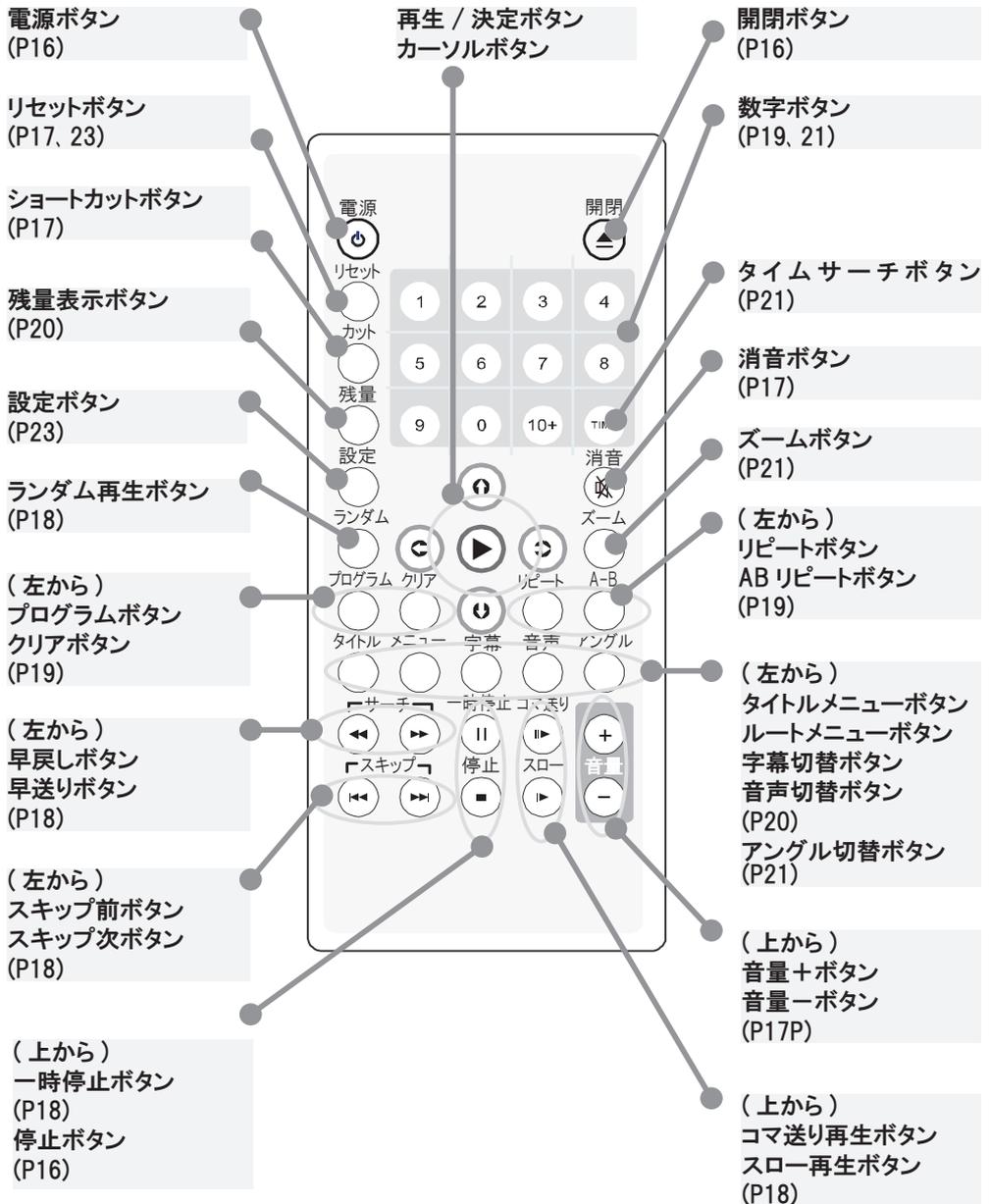
停止ボタン [STOP]



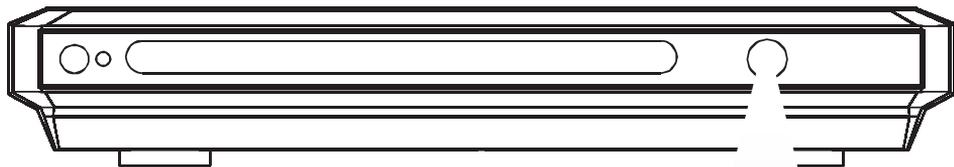
再生 / 一時停止ボタン [PLAY]

音声切換ボタン [L/R]

各部のなまえ (リモコン)



リモコン操作



リモコンで本機を操作する場合は赤外線受光部にリモコンを向けて操作してください。
リモコンの操作可能範囲はセンサーから7m以内です。

© 2011 Sony Electronics Inc. All rights reserved.

ご注意

- ・ 赤外線センサー受光部に強い光が当たるとリモコンが正しく作動しません。
- ・ リモコンの電池が消耗すると正しく作動しません。
- ・ 本機のリモコンによって他機器が誤作動する場合は直ちにリモコンの使用を中止してください。



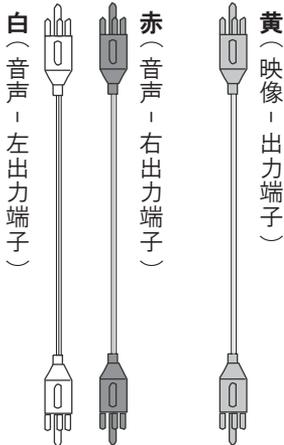
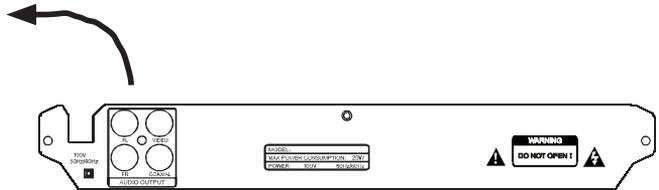
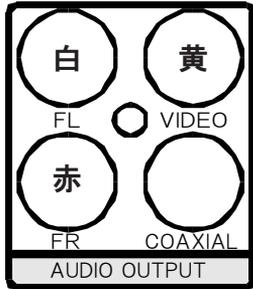
■リモコンの使用についてのご注意

- ・ 本書「電池に関するご注意」(P07)を必ずお読みください。
- ・ 付属の電池は動作確認用です。
- ・ リモコンを落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・ リモコンにお茶や珈琲をごぼさないでください。
- ・ リモコンの文字表記は改良等により本書と異なる場合があります。

テレビとの接続

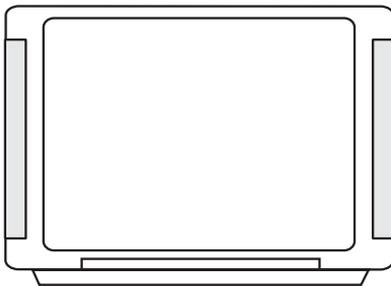
■映像（黄色）端子・音声入力端子付きテレビと接続する

本機の出端子とテレビジョン側の入力端子の色を合わせて正しく接続してください。



⚠ 放熱スペースについて

本機の側面と上部には必ず 10cm 以上の放熱スペースを設けるように設置してください。本機はご使用に伴い、多少の熱を発生します。熱がこもると故障や事故の原因になりますので、通気性に留意し、確実な放熱スペースを確保してください。

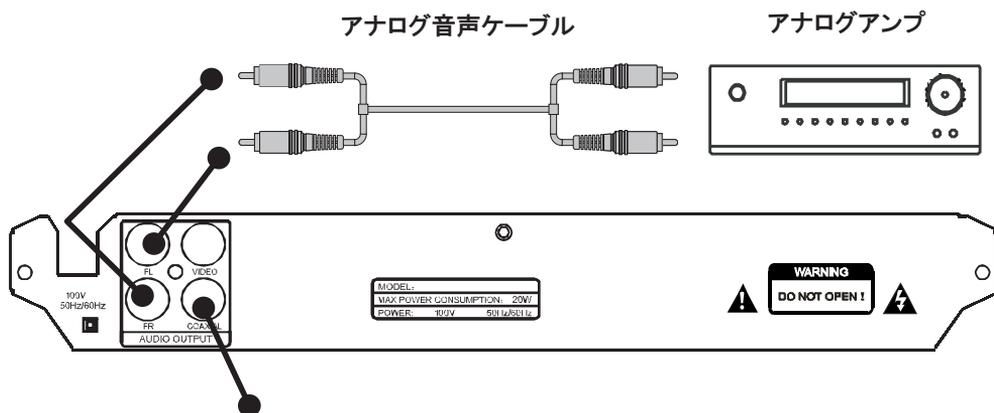


音声入力端子付テレビジョン

外部機器との接続

■アナログ接続で音声を再生する

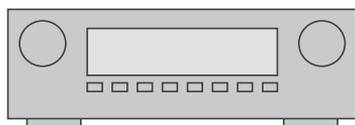
- 本機の音声を 2ch オーディオ機器で再生する場合の接続です。
- 本機背面の音声出力端子を外部機器の音声入力端子と接続してください。
- 設定を誤ると音声が入りません。



同軸デジタルケーブル(市販品)

■デジタル接続で音声を再生する

- 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむ場合は、デジタル接続を行ってください。
- デジタル接続には市販品の「同軸デジタルケーブル」が必要です。
- 本書「デジタル音声出力設定」(P26)も併せてお読みください。
- 設定を誤ると正しく出力されません。



デジタル入力端子付アンプ

基本的な操作

■電源の ON

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む。
本体の「スタンバイ」表示が点灯（赤色）し、待機状態になります。
 - 2 本体の「POWER」ボタンまたはリモコンの「電源」ボタン（）を押す。
ディスクトレイが点灯（青色）し、電源が【ON】になります。
- 本機を長期間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ディスクのセット

- 1 本体の「EJECT」またはリモコンの「開閉」ボタン（）を押してトレイを開く。
ディスクトレイに合わせてディスクを載せてください。
- 2 本体の「EJECT」またはリモコン「開閉」ボタン（）を押してトレイを閉める。
CD や VCD は自動的に再生を開始します。
DVD の場合はメニュー画面が表示される場合があります。

■メニュー画面が表示された場合

- 1 カーソルボタン（/ / / ）を押して項目を選択する。
- 2 「再生 / 決定」ボタン（）を押してメニュー内容を決定する。

■再生

「再生 / 決定」ボタン（）を押すと再生を開始します。

■停止

- 1 再生中に本体の「STOP」またはリモコンの「停止」ボタン（）を押す。
停止ボタンを押すとリジューム再生状態になります。
- 2 再生を完全に停止するには再度、「停止」ボタン（）を押す。

■リジューム再生機能

- 再生を停止すると本機は停止した箇所を記録します。
- 次に「再生 / 決定」ボタン（）を押すと、先に停止した箇所から再生を開始します。

基本的な操作（つづき）

■音量の調節

- 本体の「VOL」ボタンまたはリモコンの「音量」ボタンを押して音量を調整します。
- 音量のレベルは「00」から「20」までの数値で変化します。

■消音機能

- リモコンの「消音」ボタンを押すと再生中の音声を一時的に消去します。
- 消音機能を解除するには再度、「消音」ボタンまたは「音量」ボタンを押します。

■ショートカット機能

一部の DVD ではディスクの読み込み後すぐに、リモコンの「ショートカット」ボタンを押すと、警告画面などをスキップして素早くタイトル画面を表示させることができます。

《ご注意》

ディスクによっては機能しない場合があります。

■リセット機能

リモコンの「リセット」ボタンを押すと本機の設定を工場出荷時の設定（初期状態）に戻すことが可能です。設定が分からなくなった場合にご使用ください。

《ご注意》

トレイにディスクが入っていると機能しません。リセットする場合はディスクを抜いてください。

再生できる音声の種類

ドルビーデジタル

現在主流となっている DVD の音声圧縮方式です。5.1ch サラウンドで記録されているソフトもありますが、モノラルやステレオで記録されているソフトもあります。

PCM

ドルビーデジタルのような音声の圧縮を行わない記録方式です。音楽を収録した CD や DVD などに用いられている記録方式です。LPCM の場合 48kHz や 96kHz などの表示があります。

MP3

CD と同等音質のデジタル音楽データを約 10 分の 1 に圧縮しています。MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、48kHz で記録されたファイルに対応しています。

ポップノイズについて

トラックの切れ目やオーディオ機器の組み合わせにより、システムの電源を起動したときや操作を行った場合にスピーカからポップノイズ（ポツ音、プチ音）が発生する場合があります。本機の電源を ON にした後で、外部機器の電源を ON にした場合などは特にノイズが入りやすくなります。モードボタンでサラウンドモードを切り換える時もノイズが発生しやすくなります。

いずれもポップノイズによる音響機器の動作や音質には支障ありません。

便利な再生機能

■スキップ再生

1 再生中にリモコンの「スキップ」ボタン (⏮️または ⏭️) を押す。

押した回数だけ押した方向にスキップを行います。

《ご注意》

音楽 CD の 1 曲目を再生中に (⏮️) ボタンを押すと本機は停止状態になります。

■サーチ再生 (早戻し / 早送り)

1 再生中に「早戻し / 早送」ボタン (⏮️または ⏭️) を押す。

ボタンを押すたびに再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍に変化します。

2 再生を通常の数値に戻すには「再生 / 決定」ボタン (▶️) を押す。

■一時停止

1 再生中にリモコンの「一時停止」ボタン (⏸️) を押す。

再生を一時停止します。

2 機能を解除するには再度、「一時停止」(⏸️) ボタンを押す。

■スロー再生

1 再生中にリモコンの「スロー再生」ボタン (⏪️) を押す。

ボタンを押すたびに再生速度が順番に変化します。

2 再生を通常の数値に戻すには「再生 / 決定」ボタン (▶️) を押す。

● スロー再生は DVD ディスクのみに機能します。

■コマ送り (ステップ) 再生

1 再生中にリモコンの「コマ送り」ボタン (⏩️) を押す。

画面に ⏩️ アイコンが現れ、再生が一時停止状態になります。

2 「コマ送り」ボタンを押す。

ボタンを押すたびに画面がコマ送りされます。

3 再生を通常の数値に戻すには「再生 / 決定」ボタン (▶️) を押す。

● コマ送り再生は DVD ディスクのみに機能します。

■ランダム再生

1 再生中にリモコンの「ランダム」ボタンを押す。

本機が自動的にランダム再生を開始します。

ランダム再生中は TV 画面に【Shuffle】表示が現れます。

2 機能を解除するには再度「ランダム」ボタンを押す。

便利な再生機能（つづき）

■リピート再生

1 再生中にリモコンの「リピート」ボタンを押す。

ボタンを押すたびにリピート方法がディスプレイに現れます。

CD/VCD	TRACK(1 曲)	ALL(全曲)	OFF(切)	
DVD	CHAPTER	TITLE	ALL	OFF(切)
MP3	SINGLE(一回再生)	REPEAT ONE	REPEAT FOLDER	FOLDER(通常再生)

2 リピートボタンを押して、リピート方法を選択する。

機能を解除するには「リピート」ボタンを押して表示を消します。

■特定区間 (A-B) リピート再生

この機能は任意に指定した特定区間を連続再生する機能です。

1 区間リピート再生の開始位置 (A 地点) でリモコンの「リピート AB」ボタンを押す。

TV 画面に【A】表示が現れます。

2 リピート再生の終了位置 (B 地点) でリモコンの「リピート AB」ボタンを押す。

TV 画面に【AB】表示が現れ、区間リピート再生を開始します。

3 機能を解除するには再度、「リピート AB」ボタンを押す。

■プログラム再生

DVD に収録されたチャプターや CD や VCD に収録されたトラックを 20 プログラムまで再生することができます。

1 リモコンの「プログラム」ボタンを押す。

TV 画面にプログラムメニューが表示されます。

2 「数字」ボタンを押してプログラム番号を入力する。

3 プログラムを終了したら「カーソル」ボタンを押して

TV 画面下の【START】を選択する。

4 「再生 / 決定」ボタンを押す。

本機が自動的にプログラム再生を開始します。

■プログラム再生の解除

1 「プログラム」ボタンを押す。

プログラムメニューを表示させます。

2 「カーソル」ボタンを使い、【STOP】を選択する。

DVD のプログラム画面



■数字の設定方法について（例）

「15」を入力する場合は、
「10+」と「5」を押す。
「36」を入力する場合は、
「10+」を 3 回押し「6」を押す。

■数字を訂正する場合

「クリア」ボタンを押す。

便利な表示機能

■ DVD メニュー表示

再生中に「タイトル」ボタンを押すと、ディスクに収録されているタイトルメニュー画面を表示することができます。

「メニュー」ボタンを押すと、ディスクのルートメニューを表示することができます。

それぞれのメニュー画面が表示されたら、「カーソル」ボタンを押して項目を選択します。

続けて「再生 / 決定」ボタン(▶)を押すと選択した項目に移動します。

《ご注意》

この操作は複数のタイトルメニューおよびサブメニューが収録されているディスクのみに機能します。メニューが記録されていないディスクでは操作できません。

ディスクによっては「数字」ボタンを使用する場合など、操作が異なる場合があります。

「メニュー」ボタンでタイトルメニューが表示されるディスクもあります。

■ PBC 機能

本機は PBC(プレイバックコントロール)機能つきビデオ CD(バージョン 2.0)に対応しています。

PBC 対応ディスクではメニュー画面がディスプレイ上に表示されますので操作しやすくなります。

PBC 機能の ON/OFF は「メニュー」ボタンを押して切り換えます。

■ 音声言語の変更

再生中に「音声切替」ボタンを押すと、初期設定で選択した言語を他の言語に変えることができます。

CD や VCD では音声チャンネル (LEFT MONO/RIGHT MONO/MIX-MONO/STEREO) を切り替えることが可能です。

吹き替え音声の収録された DVD などを楽しむときに使用します。

《ご注意》

この操作は複数の音声言語が記録されているディスクのみに機能します。

■ 字幕言語の変更

再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すと、初期設定で選択した字幕言語を他の言語に切り替えることが可能です。

《ご注意》

この操作は複数の字幕言語が記録されているディスクのみに機能します。

■ 残量時間表示

再生中に「残量表示」ボタンを押すと、トラックやチャプター再生時のや経過時間や時間残量を表示することが可能です。

便利な表示機能（つづき）

■ズーム機能

DVD 再生中に「ズーム」ボタンを押すことで、画面サイズを2倍、3倍、4倍に変更することができます。

「ズーム」ボタンを押すたびに倍率が変化します。

カーソルボタン (◀/▶/⏪/⏩) を押すことでズーム箇所の移動が可能です。

■アングル機能

複数のアングルが記録されたディスクでは再生中に「アングル」ボタンを押すことで記録されたアングルを切り替えることが可能です。

「アングル」ボタンを押すたびにディスクに記録されたアングル表示番号が切り替わります。

《ご注意》

この機能は複数のアングルが記録された DVD ディスクのみに機能します。

■タイムサーチ機能

DVD または CD の指定した経過時間位置からの再生を開始します。

チャプター番号を直接選択して再生することも可能です。

1 DVD ディスク再生中に「サーチ (TIME)」ボタンを押す。

ディスク情報が TV 画面に表示されます。

ボタンを押すたびに表示が切り換わります。

「XX」は総タイトル番号や収録チャプター番号です。ディスクによって異なります。

「--」部分に数値を入力します。

DVD の場合

TITLE XX/XX CHAPTER --/XX	チャプター番号を指定します。
TITLE XX/XX TIME -/--/--	経過時間位置を指定します。
CHAPTER : XX/XX TIME -/--/--	チャプター番号とチャプター内経過時間を指定します。

CD/VCD の場合

DISC GO TO --/-- (DISC 時間)	ディスク内の時間を指定します。
TRACK GO TO --/-- (TRACK 時間)	トラック内の時間を指定します。
SELECT TRACK --/XX (TRACK 選択)	トラック番号を直接指定します。

2 時間を指定する場合は数字ボタンを押す。

左から順に、「時間 / 分 / 秒」を入力します。

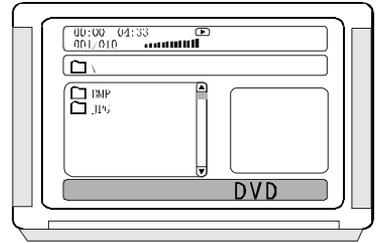
自動的に指定箇所へ移動します。

数字を訂正するには「クリア」ボタンを押します。

データファイルの再生

■ MP3 ファイルの再生

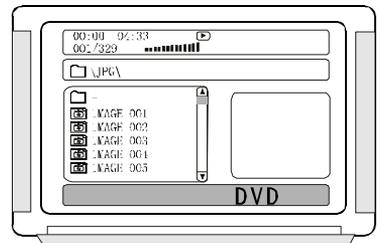
- 1 ファイルが記録されたディスクを挿入する。
ディスプレイにナビ画面が表示されます。
- 2 カーソルボタン (◀/▶/⏪/⏩) を押す。
再生したいフォルダ (ファイル) を選択します。
- 3 「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。
選択したフォルダ (ファイル) の再生を開始します。



▲データを読み込むと画面にデータ内のフォルダ一覧が表示されます。

! MP3 ファイル再生に関するご注意

- ファイル数 (トラック数) やフォルダ数が多い場合は読み込みに時間がかかることや再生できない場合があります。
- ディスクの書き込み形式によっては再生順が変わる場合があります。
- 本機の表示とパソコンでは表示順序が異なる場合があります。
- 記録方式によっては再生できない場合があります。



▲フォルダを選択決定するとフォルダ内のファイルが表示されます。

■ 写真ファイル (JPEG) の再生

- 1 JPEG ファイルが記録されたディスクを挿入する。
ディスプレイにナビ画面が表示されます。
- 2 カーソルボタン (◀/▶) を押して再生したいフォルダを選択する。
- 3 「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。
選択したファイルからスライドショーを開始します。

《ご注意》

JPEG 以外の静止画 (TIFF など) や音声付画像 (Motion JPEG) は再生できません。

■ 写真ファイル再生の機能

機能	使用ボタン
画像一覧表示	停止 [■] ボタン
再生一時停止	一時停止 [] ボタン
右 90 度回転	カーソル [↻] ボタン
左 90 度回転	カーソル [↺] ボタン

機能	使用ボタン
スキップ	[◀◀/▶▶] ボタン
ズーム	[ズーム] ボタン
ズーム倍率調整	[◀◀/▶▶] ボタン

初期設定について

「初期設定」には TV 画面サイズ設定やデジタル音声出力設定など、本機をより活用していただくための各種設定項目があります。ご使用環境に応じて正しく設定してください。

各設定項目についてはそれぞれのページをご覧ください。

● 「設定」 ボタンを押すとディスプレイに初期設定画面が表示されます。

■ 初期設定の方法

- 1 「設定」 ボタンを押す。
初期設定画面が表示されます。
- 2 カーソルボタン (◀/▶/⏪/⏩) を押す。
ハイライト表示が各項目を移動します。
- 3 項目の決定には「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。
- 4 設定を終了するには「設定」ボタンを押す。

設定を初期状態に戻すには

リモコンの「リセット」ボタンを押すと工場出荷時の状態に戻ります。

トレイにディスクが入っている場合はトレイからディスクを抜いてください。

グループ	設定項目	おもな設定内容	掲載
DVD 言語設定	画面表示言語	English/ 日本語	P24
	音声言語	日本語 / 英語 / 他	
	字幕言語	日本語 / 英語 / 他	
	ディスクメニュー言語	日本語 / 英語 / 他	
映像設定	映像出力信号	コンポジット (CVBS)	P25
	TV 画面サイズ	4:3PS/4:3LB / 16:9WIDE	
	TV タイプ	PAL/AUTO/NTSC	
	シャープネス	高 / 中 / 低	
	ブライトネス	- 20 ~ + 20	
	コントラスト	- 16 ~ + 16	
音声設定	デジタル出力	切 / RAW(5.1ch)/PCM(2ch)	P26
	ダウンミックス	LTRT/STEREO	
	HDCD	切 / 44.1K/88.2K	
	デュアルモノ	STEREO/L-MONO/R-MONO	
	ダイナミックレンジ	切~最大圧縮	
システム設定	アングルマーク	入 / 切	P27
	クローズドキャプション	入 / 切	
	スクリーンセーバ	入 / 切	
	ラストメモリ	入 / 切	
	製品情報表示		
	初期値		
パスワード設定	視聴制限	レベル 1 ~ レベル 8	P28
	パスワード	138900(初期設定)	

DVD言語設定 [DVD SETUP]

■画面表示言語 [OSD LANGUAGE]

画面に表示する言語を選択します。

【ENGLISH】

【日本語】

■音声言語設定 [AUDIO]

吹き替え音声などDVDの音声を選択します。

■字幕言語設定 [SUBTITLE]

字幕の言語を選択します。

■ディスクメニュー言語設定 [DISC MENU]

ディスクメニューの言語を選択します。

選択可能な言語 (8 言語)

英語	日本語
フランス語	韓国語
スペイン語	ロシア語
中国語	タイ語

その他 (言語) の選択について

選択項目 (8 言語) 以外を選択する場合は【その他】を選んでから数字ボタンで4桁の言語コードを入力し、「再生 / 決定」ボタン (▶) で決定します。言語コードは下表を参照してください。

アイスランド	7383	オーリア	7982	シンハラ	8378	ドイツ	6869	ベルシア	7065
アイマラ	6589	オランダ	7876	スウェーデン	8386	ナウル	7865	ポーランド	8076
アイルランド	7165	カザフ	7575	スロバキア	8375	日本語	7465	ポルトガル	8084
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スロベニア	8376	ネパール	7869	マオリ	7773
アッサム	6583	カタロニア	6765	スウヒリ	8387	ノルウェー	7879	マケドニア	7775
アフアル	6565	ガリチア	7176	スンダ	8385	ハウサ	7265	マライ	7783
アフリカーンス	6570	韓国 (朝鮮) 語	7579	スペイン語	6983	ハンガリー	7285	マラッタ	7782
アブバジア	6566	カナダ	7578	ズールー	9085	バシキール	6665	マラヤーラム	7776
アムハラ	6577	カンボジア	7577	セルビア	8382	バスク	6985	マルタ	7784
アラビア	6582	キルギス	7589	セルボクロアチア	8372	バシユト	8083	マダガスカル	7771
アルバニア	8381	ギリシア	6976	ソマリ	8379	バシジャブ	8065	モルダビア	7779
アルメニア	7289	クルド	7585	タイ語	8472	ヒンディー	7273	モンゴル	7778
イスピアク	7375	クロアチア	7282	タタール	8484	ビハール	6672	ヨルバ	8979
イタリヤ	7384	グララニー	7178	タミル	8465	ビルマ	7789	ラオ	7679
イディッシュ	8973	グジャラト	7185	タガログ	8476	フィジー	7074	ラテン	7665
インターリングア	7365	グリーンランド	7576	タジク	8471	フィンランド	7073	ラトビア	7686
インドネシア	7378	グルジア	7565	チェコ	6783	フェロー	7079	リトアニア	7684
ウエールズ	6789	ケチュア	8185	中国語	9072	フランス語	7082	リンガラ	7678
ウオロフ	8779	ゲール	7168	チベット	6679	フリジア	7089	ルーマニア	8279
ヴォラビュック	8679	コーサ	8872	ティグリニア	8473	ブータン	6890	レトロマンス	8277
ウクライナ	8575	コルシカ	6779	テルグ	8469	ブルガリア	6671	ロシア語	8285
ウスベク	8590	サモア	8377	デンマーク	6865	ブルターニュ	6682		
ウルドゥー	8582	サンスクリット	8365	トウイ	8487	ヘブライ	7387		
英語	6978	ジャワ	7487	トルクメン	8475	ベトナム	8673		
エストニア	6984	ショナ	8378	トルコ	8482	ペロルシア	6669		
エスペラント	6979	シンド	8368	トンガ	8479	ベンガル	6678		

映像設定 [VIDEO SETUP]

■映像出力信号設定 [VIDEO OUTPUT]

本機はコンポジット信号 (CVBS) のみ選択可能です。

■ TV 画面サイズ [TV DISPLAY]

ご使用になるテレビジョンの画面サイズに合わせて設定します。

【4:3PS】パンスキャン。対応ディスクのみ。

ワイド画像は左右がカットされて映ります。

【4:3LB】レターボックス。

4:3 サイズのテレビにワイド画像を全画面表示します。画面の上下に黒い帯が映ります。

【16:9 ワイド】ワイドテレビサイズ。

ワイドテレビと接続する場合に選択します。

■ TV タイプ設定 [TV TYPE]

【PAL】PAL 方式のテレビジョンと接続する場合に選択します。

【自動】

【NTSC】日本のテレビジョン方式は NTSC です。

■シャープネス [SHARPNESS]

【高】

【中】

【低】

■ブライトネス [BRIGHTNESS]

カーソルボタン (◀/▶) で調整します。

「再生 / 決定」ボタン (▶) を押すと終了します。

設定範囲【- 20】 ~ 【+ 20】

■コントラスト [CONTRAST]

カーソルボタン (◀/▶) で調整します。

「再生 / 決定」ボタン (▶) を押すと終了します。

設定範囲【- 16】 ~ 【+ 16】

音声設定 [AUDIO SETUP]

■ デジタル出力設定 [DIGITAL OUTPUT]

デジタル音声出力端子 (SPDIF) を使って外部機器と接続する場合に設定します。

【SPDIF 切】 デジタル出力しません。

【SPDIF/RAW(5.1)】 マルチチャンネル (5.1) 対応アンプと接続する場合に選択します。

【SPDIF/PCM(2.0)】 マルチチャンネル非対応アンプ (2ch) と接続する場合に選択します。

■ ダウンミックス設定 [DOWNMIX]

マルチチャンネル (5.1ch) 音声をアナログ出力 (2ch 音声) で再生する場合の音声を設定します。センター ch 音声は左右のスピーカから出力されます。

【LT/RT】 多チャンネル信号を左と右の 2ch にミックスして出力します。

【STEREO】 リア ch の右と左の音声信号はそれぞれフロントの右と左に振り分けて出力します。

■ HDCD 設定

HDCD とは 88.2kHz/20bit で収録された音源を 44.1kHz/16bit の現行 CD の規格に収録する技術です。対応ディスクを再生する場合に設定してください。

【切】

【44.1K】

【88.2K】 HDCD を再生する場合に選択します。

■ デュアルモノ設定 [DUAL MONO]

ドルビーデジタルのデュアルモノ方式で記録された DVD を再生する場合の音声出力方式を切り換えます。

【STEREO】 ステレオで再生。

【L-Mono】 左チャンネルのみを再生。

【R-Mono】 右チャンネルのみを再生。

【Mix-Mono】 左右の音声を混合して再生。

■ ダイナミックレンジ [DYNAMIC]

音量を下げて映画などを楽しむ場合はダイナミックレンジの圧縮率を高めることで、小さな音でもセリフが聞き取りやすくなります。

【FULL】 ダイナミックレンジを最大圧縮します。

【OFF】 機能を使用しません。

● ドルビーデジタル信号で記録された DVD の再生およびアナログ出力のみ機能します。

● 効果の少ないディスクもあります。

システム設定 [SYSTEM SETUP]

■アングルマーク [ANGLE MARK]

この機能は複数のアングルを収録したディスクの再生時に機能します。
マルチアングルが記録されていないディスクでは機能しません。

【入】アングルマークを表示します。

【切】機能をオフにします。

■キャプション [CLOSE CAPTION]

クローズドキャプションを収録したディスクの再生時に機能します。

【入】クローズドキャプションを表示します

【切】機能をオフにします。

● 字幕とクローズドキャプションが画面上に重なって表示される場合は【切】を選択してください。

■スクリーンセーバ [SCREEN SAVER]

スクリーンを損傷から防ぐために、画面が一定時間動かないときに表示されます。

【入】スクリーンセーバを表示します

【切】機能をオフにします。

■ラストメモリ設定 [LAST MEMORY]

機能を【入】にするとディスクを交換しても中断箇所から再生することが可能です。

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

■製品情報表示 [S/W VERSION]

現在の製品バージョン情報を表示しています。

■初期化 [DEFAULT]

【リセット】を選択して決定すると本機の設定をリセットし、初期化します。

● ディスクがトレイに入った状態だと機能しません。

● 初期化の際にはディスクをトレイから出してください。

パスワード設定 [PASSWORD SETUP]

■視聴制限設定 [PARENTAL]

お子様に見せたくない場面が含まれたディスクの再生を制限することが可能です。
視聴制限を切り換える場合は 6 桁のパスワードの入力が求められます。

【レベル 1】 KID SAF[Kid Safe] 子ども向けソフトのみ再生可能。

【レベル 2】 G[General Audience] 一般むけ。

【レベル 3】 PG[Parental Guidance] 児童の鑑賞は保護者の判断が必要。

【レベル 4】 PG13[Parental Guidance Under Age 13] 13 歳未満の鑑賞は保護者の指導が必要。

【レベル 5】 PGR[Parental Guidance Restricted] 17 歳未満の鑑賞は両親の指導が必要。

【レベル 6】 R[Restricted] 17 歳以下の青少年は親か成人の保護者同伴が必要。

【レベル 7】 NC17[No Children Under Age 17] 17 歳以下は鑑賞禁止。

【レベル 8】 ADULT すべてのソフトの再生が可能です。

- 設定を変更する場合にはパスワードを入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは【138900】に設定されています。

■パスワード変更 [PASSWORD]

【変更】を選択し決定するとパスワードを変更することができます。
3 つの項目が表示されますので、それぞれ 6 桁の数字を入力します。
最後に【OK】を選択決定します。

1 旧パスワード [OLD PASSWORD]

2 新パスワード [NEW PASSWORD]

3 パスワード確認 [CONFIRM PASSWORD]

- 工場出荷状態のパスワードは【138900】に設定されています。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、お問合わせの前にまずこのこのページで点検してみてください。
それでも動作しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

症状	確認事項と対策	掲載
電源が ON にならない	プラグがコンセントからはずれていませんか？	P16
本体が熱くなる	故障ではありません。	
映像が映らない	AV コードは正しく接続されていますか？ 接続やテレビ側の入力切替を確認してください。	P14
映像が乱れる	「映像出力信号設定」をご確認ください。 接続方法に応じた設定を行ってください。	P14
画面サイズがおかしい	「TV 画面サイズ設定」を確認してください。	P25
	ズーム再生している場合は機能を解除してください。	P21
映像が途中で止まる	片面 2 層ディスクは層の変わり目で、映像や音声が一瞬停止することがあります。	
ブロック状ノイズが出る	本機からの映像をビデオデッキ経由で再生するとコピーガードの働きにより画像が乱れる場合があります。	
	本機の演算処理能力を超えるときにブロックノイズが発生する場合があります。ブロックノイズは DVD の映像記録方式 (MPEG) の性質上、完全に除去することは困難です。	
音が出ない	アンプと接続する場合は入力切替を確認してください。	P15
	スピーカは正しく接続されていますか？	
	デジタル接続はアナログに比べて音が小さいときがあります。	P26
	音量ボタン (+) を押して最大音量 (20) にしてください。	P17
デジタル音声が出力されない	「デジタル出力設定」をご確認ください。	P26
デジタル接続でノイズが発生する	ドルビーデジタル非対応アンプとデジタル接続する場合は「デジタル出力設定」を「PCM」にしてください。	P26
DVD ± R/RW ディスクが再生できない	DVD レコーダーなどで記録する場合は「ビデオモード」でフォーマットしたディスクをファイナライズ処理してください。	P09
DVD ビデオを再生できない	視聴制限がかかっている場合は【レベル 8】にしてください。	P28
本機をリセットできない	トレイにディスクが入っている場合はディスクを抜いてください。	P17

■データファイルの再生トラブルとそのおもな原因

症状	おもな原因
MP3 ファイルが再生できない	DRM コピープロテクト (著作権保護) がかったファイルは再生できません。
	サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz 以外で記録された MP3 ファイルは再生できません。
	ISO9660 フォーマットに準拠していないディスクは再生できません。
JPEG ファイルが再生できない	DCF 準拠以外のファイルは再生できません。
	ファイルサイズが大きいと読み込みに時間がかかります。

おもな仕様

■電源部

電源電圧……………AC100V、50Hz/60Hz
消費電力……………20W
待機時消費電力……………2W
動作温度……………摂氏 5℃～35℃

■音声特性

DA コンバーター……………24ビット
S/N 比……………80dB 以上
音声出力レベル……………1.5Vrms

■音声再生フォーマット

- ・ドルビーデジタル
- ・PCM
- ・MP3

■映像特性

映像方式……………NTSC/PAL/AUTO
出力信号……………1.0Vp-p(75Ω)

■映像再生フォーマット

- ・MPEG1(VCD)
- ・MPEG2(DVD)

■音声出力端子

- ・同軸デジタル端子(1)
- ・アナログ RCA 端子(1)

■映像出力端子

- ・コンポジット映像端子(1)

■再生可能ディスク

- ・DVD-Video (DVD ビデオ)
- ・VCD (ビデオ CD)
- ・DVCD (ダブルビデオ CD)
- ・SVCD (スーパービデオ CD)
- ・ピクチャー CD
- ・DVD-RW
- ・DVD-R
- ・+RW
- ・+R
- ・CD-Audio (CD-DA)
- ・CD-R
- ・CD-RW

■本体外形寸法 / 質量

外形寸法……………幅 230 × 高 40 × 奥 215mm
質量……………1150 g

■赤外線ワイヤレスリモートコントローラ

外形寸法……………幅 55 × 高 125 × 厚 10mm
質量……………40g(乾電池除く)
使用電池……………CR2025(ボタン型)

■セット内容

- ・本体(1)
- ・リモコン(1)
- ・AV ケーブル(1)
- ・取扱説明書(1)

★仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

★この取扱説明書に描かれているイラストや画面表示などは説明を分かりやすくするために省略している箇所がありますので実際とは異なります。

保証とアフターサービス

保証書はこの取扱説明書に付属していますので、必ず [販売店] や [ご購入日] などの記載を確かめ、保証内容などをよくお読みください。保証期間はご購入日より1年間です。

修理を依頼されるときは

まず本書にしたがってもう一度操作していただき、直らないときに次の処置をしてください。
症状はできるだけ詳しくお知らせください。

保証期間中

- ・保証書の規定に従い、ご購入の販売店が弊社が修理させていただきます。
- ・製品に保証書を添えてご送付ください。

保証期間が過ぎているとき

- ・ご購入の販売店にご相談ください。
- ・修理によって使用できる製品につきましてはご希望により有料で修理させていただきます。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです



愛情点検

長年ご使用の AV 機器の点検を！



こんな症状はございませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードやプラグにヒビが入っている。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 異常な音や臭い、発熱がある。
- その他の異常や故障、不具合がある。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。必ず電器店に点検をご依頼ください。費用等も併せてご相談ください。